

294th IBB Seminar

困難な生体分子標的に巨大ライブラリーで挑む

講師：相川 春夫 助教

東京大学理学系研究科

化学専攻

日時：2026 年 3 月 14 日(土) 14:20～15:30

会場：東京科学大学 総合研究院 生体材料工学研究所
第二会議室 22 号館（1 階）



Abstract: 生体分子の機能制御を目的に生理活性分子の探索が行われているが、その中には標的にするのが非常に困難なものがある。例えば、標的と非常に似通った生体分子が存在する場合である。糖鎖はその官能基多様性の低さ（主に OH 基）から他の糖鎖と標的を見分けるのが困難である。また、キナーゼを標的とする場合もその構造類似性から、ある特定のキナーゼのみを標的とすることは困難である。本セミナーでは、これら既存の方法では選択的な結合分子の取得が困難と考えられる標的に対して、超巨大ペプチドライブラリー（ $>10^{12}$ 種）を扱える我々のセレクションシステム（RaPID）を用いた結果に関して最新の例を紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村